

近畿地方会ニュース

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会事務局
 〒545 大阪市阿倍野区旭町1-4-54
 大阪市立大学医学部環境衛生学教室内
 TEL. 06-645-2056

発行責任者 堀 口 俊 一

日本産業衛生学会近畿地方会 第40回 総会ご案内

日本産業衛生学会近畿地方会
 会長 三 浦 武 夫

今年の地方会総会は下記の通り開催いたします。
 会員各位の多数のご参加をお待ちいたしております。

日 時：平成4(1992)年5月29日(金)

午後1時30分～5時

場 所：大阪府医師会館 4階A・B (地図参照)

プ ロ グ ラ ム

1. 議事 午後1時30分～2時10分
 - 1) 平成3(1991)年度事業報告および会計報告
 - 2) 日本産業衛生学会近畿地方会活性化委員会の報告
 - 3) 日本産業衛生学会近畿地方会選挙制度委員会の報告
 - 4) 第64回日本産業衛生学会学会記録編集委員会の報告
 - 5) 秋の産業医部会、産業看護部会合同の行事について
 - 6) 平成4(1992)年度事業予定および予算
 - 7) その他
2. 特別講演 午後2時20分～5時
 テーマ：労働と循環系疾患
 - 1) 脳ドックにみられた脳血管障害
 杉浦守邦 (蘇生会総合病院副院長、
 健康増進センター所長)
 - 2) 循環器疾患の作業関連要因
 —近畿地方における研究経過—
 田尻俊一郎 (淀協社会医学研究所)

日本産業衛生学会近畿地方会評議員会ご案内

日 時：平成4(1992)年5月29日(金)

午後0時45分～1時25分

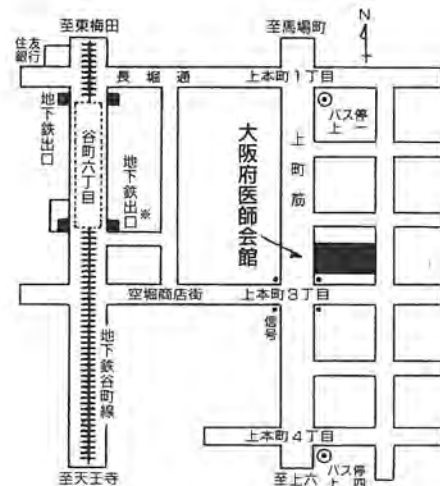
場 所：大阪府医師会館 4階A・B

出欠のお返事は同封の葉書にて必ず5月20日まで
 にお願ひ致します。

会場の都合で昼食をご用意いたしておりません
 ので昼食を済ませてお集まり下さい。

大阪府医師会館案内図

所在地 〒543 大阪市天王寺区上本町2-1-22
 電 話 (06) 768-1451



※ 谷町6丁目駅C階段出口③をご利用下さい。

梅田方面より

地下鉄谷町線「東梅田」駅より乗車「谷町6丁目」
 駅下車。徒歩10分。

難波方面より

地下鉄千日前線「難波」駅より乗車「谷町9丁目」
 駅で谷町線に乗りかえ「谷町6丁目」駅下車。

天王寺方面より

地下鉄谷町線「天王寺」駅より乗車「谷町6丁目」
 駅下車。

天満橋(京阪電車)方面より

地下鉄谷町線「天満橋」駅より乗車「谷町6丁目」
 駅下車。

福原一彦先生を偲ぶ

松 田 司



昨年(1991)の11月、兵庫医大にて近畿産業衛生学会が開催された時は、福原君は元気に理事報告を行い、演題発表も済まし懇親会にも出席、その後神戸まで帰り私と2次会をして別れました。その1週間後、突然福原君より電話がかかり、肝癌で手術のため兵庫医大へ入院すると知らせて来ました。まさに晴天の霹靂、啞然と致しました。

福原君は自己健康管理のために年2回自発的に検診を行っていましたが、上記学会1週間後に検診を行ったところ肝機能に異常値を発見し、精検の結果、肝癌に間違いなからうとのことで手術を勧められ、本人も躊躇せず手術に踏み切りました。早期発見と思われたのですが、これが彼の寿命を縮める結果となりました。

思えば昭和19年、神戸に医専が新設され共に入学し、それ以来の約半世紀にわたる交友でした。私が川鉄の産業医となり、福原君は川重の産業医となったのですが、神大衛生学教室の松島周蔵教授に師事してからは、共に同じ労働衛生の道を歩みました。

福原君は太り型で柔道、私は痩せ型で剣道、彼は慎重居士、私は冒険居士で見かけも性格も全く違っていたのに、2人はよく間違えられました。この性格の違う2人がよく旅をしましたが、それは全くの弥次喜多道中でした。会合でもよく議論しました。一方が発言すれば必ず他方が反論を出しました。会えば、飲み、飲めば午前様になりました。

しかし、もう学会で会うこともなく、弥次喜多をすることもなく、午前様になることもなくなりました。お互いに情報を交換し、議論し会い、助け合って来ましたが、これは叶わぬ夢となりました。福原君は今までよく働きました。労働衛生関連の学会にも充分力を尽くしました。もうこの辺で休養してもよいのではないのでしょうか。入院が一時的休養ではなく、永遠の休養となりましたが、どうか安らかに眠り下さい。

選挙制度検討委員会報告

1992年2月22日

日本産業衛生学会近畿地方会選挙制度に関する答申

1. これまで選任されていなかった幹事を、評議員の中から各理事が2名ずつ推薦し、当面10名を選任し、地方会の拡大理事会のメンバーとして活動していただく。
2. 評議員の選出について、①極端な偏りを避ける意味

で、事業所・健保組合、大学・研究機関、健診機関・医療機関その他の3区分を維持する、②所属外区分への投票は、大学・研究所関係者は知名度が高く集中し、偏りすぎる懸念があるので、例えば、投票者が所属する区分から20名、他の区分から各々10名まで投票できるように限定し、③当選者は全定数の3分の2を3区分に比例配分し、所属区分における順位により決定した後、1票の差を避けるため残り3分の1を区分に関わらず得票順位により決定すること。

3. 選挙管理委員会の使命・役割などの規定を89年選挙の経験に基づき明文化する。
4. その他理事の定年制、会長・副会長の選出法などについて議論し、提案した。

日本産業衛生学会近畿地方会
選挙制度委員会

活性化委員会報告

1992年3月10日

日本産業衛生学会近畿地方会活性化に関する答申(案)

日本産業衛生学会近畿地方会活性化委員会

日本産業衛生学会近畿地方会理事会(以下、理事会と称す)の諮問をうけ、日本産業衛生学会近畿地方会活性化委員会(以下、委員会と称す)を3回開催し、日本産業衛生学会近畿地方会(以下、地方会と称す)の活性化について審議を重ね、1991年秋の地方会評議員会で決定され、本年1月に実施されたアンケートを分析した結果以下の結論をえましましたので、理事会に答申します。

答 申

1. 地方会会則に則り、幹事会などの執行体制の確立をはかる。
2. 地方会幹事に以下の係を設置、あるいは担当幹事をおき、地方会における教育研修、研究会、地方会ニュース発行の諸活動の強化・発展をはかる。
 - 2-1. 教育研修係 講演会、講習会、見学会などの企画、実施にかかわる事項を分掌する。
 - 2-2. 研究会係 研究会活動の活性化にかかわる事項を分掌する。
 - 2-3. ニュース係 地方会ニュースの編集、発行にかかわる事項を分掌する。
3. 地方会の研究会の活性化をはかるために、各研究会の世話人については複数とし、若い人、女性が含まれるようにする。また、研究会世話人および研究会係の合同会議などの開催により研究会の活性化をはかる。
4. アンケートの分析結果を1992年春の近畿総会で配布するとともに、その要旨を地方会ニュースに掲載する。

日本産業衛生学会近畿地方会活性化に関するアンケート集計結果 要約

(1992.3.10.)

A. 回収状況について

送付	人数	(%)
会員	814	(84.5)
準会員	149	(15.5)
合計	963	(100.0)
回収の数と率		
会員	230	(28.2)
準会員	41	(27.5)
合計	271	(28.3)

B. 単純集計結果

1. 性	男	181	(66.8)
	女	90	(33.2)
	合計	271	(100.0)
1. 年齢			
	20歳代	22	(8.1)
	30歳代	53	(19.6)
	40歳代	58	(21.5)
	50歳代	57	(21.1)
	60歳代	62	(23.0)
	70歳以上	15	(5.5)
	記載無し	4	(1.5)
	合計	271	(100.0)
2. 学会歴			
	3年未満	102	(37.6)
	3～10年	82	(30.3)
	10年以上	83	(30.6)
	記載無し	3	(1.1)
	合計	271	(100.0)

3. 勤務先

大学・研究所	45	(16.6)
病院・診療所	81	(29.9)
健診・検査機関	32	(11.8)
事業所	72	(26.6)
健保組合	24	(8.9)
その他	17	(6.3)
合計	271	(100.0)

4. 勤務先住所

大阪	168	(62.0)
京都	29	(10.7)
滋賀	19	(7.0)
奈良	7	(2.6)
兵庫	39	(14.4)
和歌山	8	(3.0)
合計	271	(100.0)

5. 職種

医師	154	(56.8)
看護婦	38	(14.0)
保健婦	40	(14.7)
技術職	13	(4.8)
事務職	1	(0.4)
衛生管理者	2	(0.7)
その他	23	(8.3)
合計	271	(100.0)

表1 クロス集計表 (1. 年齢, 2. 学会歴, 6, 7, 8, 9 の各項目との関係)

	年 齢			学 会 歴			
	40歳未満 (N=75)	40～50歳代 (N=115)	60歳以上 (N=77)	3年未満 (N=102)	3～10年 (N=82)	10年以上 (N=83)	
6. 近畿地方会のここ2・3年間の活動に満足していますか (回答254)。							
している	85	18 24.0%	34 29.6%	33 42.9%	24 23.5%	27 32.9%	33 39.8%
していない	31	10 13.3%	16 13.9%	5 6.5%	8 7.8%	12 14.6%	11 13.3%
どちらでもない	138	48 64.0%	58 50.4%	32 41.6%	65 63.7%	37 45.1%	34 41.0%
7. 近畿地方会のここ2・3年間のどの行事に参加しましたか (回答189, 複数回答)。							
地方会総会	82	8 10.7%	36 31.3%	38 49.4%	16 15.7%	22 26.8%	43 51.8%
近畿産衛学会	128	27 36.0%	53 46.1%	48 62.3%	36 35.3%	42 51.2%	49 59.0%
研究会	93	24 32.0%	40 34.8%	29 37.7%	28 27.5%	27 32.9%	37 44.6%
その他	4	0 0.0%	2 1.7%	2 2.6%	1 1.0%	2 2.4%	1 1.2%
特になし	81	33 44.0%	31 27.0%	17 22.1%	38 37.3%	24 29.3%	17 20.5%
8. 近畿地方会の活動で活性化, 改善が必要なのは何ですか (回答141, 複数回答)。							
地方会総会	28	4 5.3%	12 10.4%	12 15.6%	5 4.9%	10 12.2%	12 14.5%
近畿産衛学会	59	17 22.7%	27 23.5%	15 19.5%	16 15.7%	19 23.2%	22 26.5%
研究会	64	20 26.7%	22 19.1%	22 28.6%	15 14.7%	21 25.6%	26 31.3%
ニュース	37	7 9.3%	13 11.3%	17 22.1%	10 9.8%	11 13.4%	14 16.9%
会費	9	4 5.3%	2 1.7%	3 3.9%	3 2.9%	2 2.4%	4 4.8%
役員選挙	13	2 2.7%	7 6.1%	4 5.2%	3 2.9%	3 3.7%	7 8.4%
役員会	13	2 2.7%	5 4.3%	6 7.8%	2 2.0%	1 1.2%	9 10.8%
その他	30	9 12.0%	10 8.7%	11 14.3%	7 6.9%	8 9.8%	13 15.7%
特になし	86	28 37.3%	37 32.2%	21 27.3%	36 35.3%	31 37.8%	18 21.7%
9. これから新たに希望される活動 (回答173, 複数回答)(* : ○印のみ)。							
講演会	99(41)	27 36.0%	31 27.0%	41 53.2%	32 31.4%	26 31.7%	39 47.0%
講習会	69(24)	22 29.3%	25 21.7%	22 28.6%	32 31.4%	18 22.0%	19 22.9%
見学会	65(28)	14 18.7%	32 27.8%	19 24.7%	20 19.6%	23 28.0%	22 26.5%
その他	12(1)	2 2.7%	4 3.5%	6 7.8%	4 3.9%	2 2.4%	5 6.0%
10. その他の意見	61	10 13.3%	28 24.3%	23 29.9%	17 16.7%	21 25.6%	22 26.5%

平成4(1992)年度 第32回近畿産業衛生学会

日 時：平成4(1992)年11月7日(土) 予定
学会長：木村真次先生(近畿健康管理センター)
詳しくは次号ニュース(No.11)に掲載します。

日本産業衛生学会産業医部会、産業看護部会合同の行事

上記行事に多数ご参加下さい。

日 時：平成4(1992)年10月27日(火)
場 所：大阪国際交流センター

産業医部会産業看護部会合同の行事について前(9)号のニュースでお知らせしましたように本学会の定款が改正され1月1日から施行されました。これにともなって本年の秋に正式に発足した掲題の両部会

の行事が行なわれることになり徳島での総会において近畿地方会がこれを担当することが決定しました。地方会担当理事として堀口から総会の席上で挨拶がなされました。なお、近畿地方会からは産業医部会の幹事として藤木幸雄、住野公昭、中島滋美の3氏、産業看護部会の幹事として上田美代子、志岐初子、植本寿満枝の3氏が選ばれました。

役員選挙について

今年の9月ごろ日本産業衛生学会の役員選挙が実施される予定です。

平成4年度会費を7月末日までに納入した会員のみ選挙権および被選挙権が得られます。7月初旬までに本部会費をお振り込み下さい。

理事会からのお知らせ

- 1) 理事の福原一彦先生が平成4年2月9日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。
- 2) 理事の欠員が生じたので、理事会の承認を受け前回役員選挙で次々点の池田正之先生を繰り上げました。

近畿地方会腰痛研究会

「職業性腰痛文献一覧」集のお知らせ

研究会内の文献研究小委員会の活動成果として、「わが国における最近20年間の職業性腰痛文献一覧」の資料報告集を作成いたしました。1970年から1990年までの国内雑誌に発表された関連文献を検索し、基礎研究、現場調査研究などの分類とともに、業種・職種別分類などを考慮した文献配列にして収録したものです。本冊子をご希望の方には、実費頒布をしております。500円とは別に送料250円切手を同封の上、研究会事務局までお申し込み下さい。

(研究会事務局：〒570 守口市文園町1 関西医科大学衛生学教室 徳永力雄)

第三十章 座って働く人の病気



図17 観屋

(ラマッティニー著、松藤元訳：働く人々の病気、P.181 北大図書刊行会、1980)

事務局からのお願い

1. 地方会費納入のお願い

- 1) 地方会費は2,000円です。同封の払い込み用紙で郵便局から払い込んで下さい。
口座番号は大阪0-305488、加入者名：日本産業衛生学会近畿地方会。
- 2) 払い込み人と会員名が異なるときは、必ず通信欄(裏)に会員名をご記入下さい。ご記入のない場

合は、送金されても会員名不記載のため送金された人の会費とはなりませんのでご注意下さい。

- 3) 経費節約のため、領収は郵便局の領収印にてご確認いただき、事務局からの送付は省略させていただきます。
 - 4) 総会当日地方会費を受け付けております(地方会からの領収書を発行しますのでご利用ください)。
- #### 2. 事務局へご提案、ご意見、お問い合わせ、連絡等は必ず文書でお願いします。